

少数台数のリコール届出の公表について (平成30年11月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成30年11月は8件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：FCAジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
11月2日	外 2743	車名：ジープ 型式：ABA-JK36L 通称名：ラングラーアンリミテッド	18	平成29年12月13日
不具合の部位等	後部座席を固定するためのアンダーボディラダーレールにおいて、製造工程の管理が不適切なため、防錆コーティングが施されていないものがある。そのため、当該レールが腐食し、後部座席の取付強度が低下して、後部座席を確実に固定できなくなるおそれがある。			

2. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月13日	外 2753	車名：メルセデス・ベンツ 型式：不明 通称名：Citaro-G	2	平成25年10月21日～ 平成25年10月29日
不具合の部位等	連節バスにおいて、停留所ブレーキ（乗降口扉開扉時に作動するブレーキ）の制御プログラムが不適切なため、停留所ブレーキで停車中に駐車ブレーキを作動させると、駐車ブレーキを解除した際に停留所ブレーキが復帰するまでにタイムラグが生じて、運転者が予期せず車両が動くおそれがある。			

3. 届出者：株式会社タダノ

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月14日	外 2745	車名：FAUN 型式：不明 通称名：RTF360G-6	29	平成21年6月25日～ 平成24年9月21日
不具合の部位等	エンジン外装カバーにおいて、当該カバーに設置されている点検用扉ロック部の防水性が不十分のため、雨水等がエンジンルーム内へ浸入し、エンジン上面に溜まる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、エンジン上面にある燃料配管が腐食し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。			

4. 届出者：FCAジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
11月22日	外 2748	車名：ジープ 型式：ABA-M624 他 通称名：コンパス 他	55	平成29年10月13日～ 平成30年4月17日
不具合の部位等	エンジン出力を制御するパワートレインコントロールモジュールのIC基板の製造工程が不適切なため、IC基板に水分が含有されているものがある。そのため、IC基板内の電極が腐食し、電気回路が遮断され、最悪の場合、走行中エンジンが停止するおそれがある。			

5. 届出者：極東開発工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月27日	4380	車名：日野 他 型式：QDG-FS1EREA 他 通称名：プロフィア 他	3	平成28年8月5日～ 平成30年1月10日
不具合の部位等	大型トラックにおいて、コンビネーションランプの取付指示が不適切なため、後退灯の照明部の上縁の高さが地上1200mm以上に取付されたものがあり、後退灯の取付基準に満足しない。			

6. 届出者：株式会社加藤製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月29日	4379	車名：カトウ 型式：KA6360 通称名：－	7	平成29年6月16日～ 平成30年2月20日
不具合の部位等	クレーン用台車の排気管において、NO _x 後処理装置前の排気管接合部へ塗布するシール剤の選定が不適切なため、シール剤の柔軟性が不足しているものがある。そのため、シール剤が排気管の振動等により割れが生じ、最悪の場合、割れ目から排気ガス及び尿素水が漏れるおそれがある。			

7. 届出者：UDトラック株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月29日	4387	車名：UDトラック 型式：2PG-GK5AAB 他 通称名：クオン	42	平成29年12月8日～ 平成30年7月25日
不具合の部位等	大型トラクタの燃料装置において、燃料タンク保持ブラケットの成型加工が不適切なため、当該ブラケットに固定しているサイドガードブラケットが傾斜して、燃料タンク底面との隙間が確保されていないものがある。そのため、走行時の振動等で燃料タンク底面とサイドガードブラケットが接触して、そのままの状態で使用を続けると、燃料タンクが損傷し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。			

8. 届出者：コベルコ建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月30日	4385	車名：コベルコ 型式：CM03 他 通称名：MK650	8	平成26年11月27日～ 平成28年2月12日
不具合の部位等	エンジンからの動力を伝達するシリコンゴム製のカップリングにおいて、部品の組み付け時の指示が不適切なため、カップリングが逆向きに取り付けられたものがある。そのため、カップリングの端部への負荷が集中することで摩耗し、最悪の場合、カップリングが破損しエンジン出力の伝達ができず、走行できなくなるおそれがある。			

【参考】

●平成30年11月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	32(+20)	28(+18)	4(+2)
輸入車	15(+2)	11(+2)	4(±0)
計	47(+22)	39(+20)	8(+2)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成30年度)

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	19(-3)	15(+7)	34(+4)	248,015(-560,454)	10,114(+6,476)	258,129(-553,978)
5	16(+7)	18(+3)	34(+10)	303,227(+107,123)	79,960(+71,171)	383,187(+178,294)
6	22(+4)	11(-9)	33(-5)	340,126(+160,909)	141,937(+76,431)	482,063(+237,340)
7	15(-2)	19(+4)	34(+2)	41,450(-143,425)	212,531(+132,149)	253,981(-11,276)
8	14(+2)	11(+4)	25(+6)	293,507(+268,111)	58,011(+55,002)	351,518(+323,113)
9	16(-3)	14(-2)	30(-5)	909,960(-635,156)	15,997(-50,909)	925,957(-686,065)
10	20(+2)	16(+1)	36(+3)	1,302,856(-229,372)	53,960(-74,012)	1,356,816(-303,384)
11	32(+20)	15(+2)	47(+22)	2,745,616(+1,953,439)	101,814(+94,814)	2,847,430(+2,048,253)
小計	154 (+27)	119 (+10)	273 (+37)	6,184,757 (+921,175)	674,324 (+311,122)	6,859,081 (+1,232,297)

※ () 内は、対前年同月比